

平成20年1月15日
株式会社 新生銀行
(コード番号:8303)

ポルテ社長が日米友好基金理事長に就任

当行のティエリー・ポルテ代表執行役社長は、2008年1月9日、日米友好基金の理事長に任命されました。同基金は、教育・文化交流および公共活動を通じて日米間の友好関係の促進を図るとともに、両国の抱える重要な政策課題に関する研究を支援しています。

日米友好基金は、1975年、独立連邦政府機関として米連邦議会により設立され、教育、文化および公共業務の分野におけるプロジェクトを支援するための資金援助を行っています。支援金は、沖縄返還により受けた公共施設および米国の戦後支援に対する日本政府の支払金を資金とした米国政府の信託基金から拠出されています。

ポルテ社長は、「両大国間の友好関係の強化に寄与できる機会をいただき光栄です。次世代に向けた両国間の文化・教育の架け橋を築き、重要な関係を持続する上で、民間部門も重要な役割を担うことができると考えております。」と述べています。

ポルテ社長は日本在住歴が長く、大手邦銀の初の米国人社長として、日米間の教育・文化交流を積極的に推進しています。当行は、多文化企業であり、国際交流のメリットについてさまざまな形での具現化を推進しています。日本人、米国人をはじめ、国際色豊かな従業員を擁し、国内外の顧客に向けて革新的な金融サービスを提供しています。2005年の就任以来、ポルテ社長は、教育、文化的理解および多様性を当行のビジョンとバリューの中心に据えてきました。邦銀初の試みとして、知識およびベストプラクティスの全行的な普及を図るためにチーフラーニングオフィサー(Chief Learning Officer)を選任し、女性の積極的な活用を奨励するとともに、文化、社会および教育に関するサポート活動を当行の社会文化貢献活動プログラムの柱としてきました。また、ニューヨーク・フィルハーモニックの役員を務める熱心なクラシック音楽ファンでもあり、2006年、当行は、この名高いオーケストラの日本ツアーの実現にスポンサーとして尽力しました。本年は、ニューヨークを拠点とし、指揮者なしでの演奏で知られる音楽家集団、オルフェウス室内管弦楽団の日本ツアーを後援する予定です。さらに当行は、日本に留学する米国の大学生に奨学金を提供する日米交流財団、そして障害者、マイクロファイナンス、女性の社会的地位向上などに取り組むNGOへの支援も行っています。

銀行での活動以外にも、ポルテ社長は日米文化教育交流会議(CULCON)の委員長として、日米の学生の教育・情報交流の拡大に努め、CULCONのもっとも成功を収めたプロジェクトのひとつである日米交流財団の資金調達活動にも熱心に携わっています。CULCONは、日米間の教育・文化的関係の促進に取り組むウェブサイト「クロスカレンツ」を運営し、現在、両国における世界的リーダーの育成プログラムを手掛けています。また、教育の分野では、日本ハーバードクラブの会長、

アメリカン・スクール・イン・ジャパンの理事、財務担当および役員を務め、また、ハーバード大学のCouncil on University Resourcesおよびハーバードビジネススクール顧問委員会のメンバーとしても活躍しています。さらに、企業の社会文化貢献活動に的を絞った、企業のCEOおよび会長による国際フォーラムであるCommittee Encouraging Corporate Philanthropyのメンバーでもあります。Japan Society、Asia Societyおよび Japan-U.S. Business Councilのメンバーとしての活動を通じて、ポルテ社長は日米関係の政治・経済面に積極的な関心を持ち続けています。

以 上